



CASE
1

NPOと企業のパートナーシップ

[NPO 法人フォレシア | <https://forecia-japan.com/>]

〒010-8572 秋田県秋田市山王 3-1-1 秋田県庁第二庁舎 3F A-3 / TEL.018-811-2966 FAX.018-803-5309
E-mail: info@forecia-jp.com

「不妊治療の現状を知って賛同してほしい」と
佐藤高輝さん



不妊治療の現状を変えるために 新しい形の支援を行うNPO法人

自らの経験から支援の必要性を痛感

昨年5月から当センター創業支援室で活動している「NPO 法人フォレシア」。不妊治療をしている方を中心に仕事を提供する日本で唯一の団体だ。

代表を務めるのは佐藤高輝さんで、自身も5年間の不妊治療を経験。何より重要だと考えたのが、不妊治療中に仕事を続けるための支援だった。不妊治療は事前に通院日を確定できず、急に仕事を休むケースが多い。さらにほとんどの人が治療中であることを周囲に打ち明けられない。そのため、不妊治療を行う女性の9割は仕事を辞めるか、勤務形態を変えることを余儀なくされている。

フォレシアでは、不妊治療をしながらでも可能な仕事の提供を行う。退職をした方には資格や高いスキルを持った方も多く、フォレシアにアウトソーシングすることで企業はそのような方たちに仕事を依頼できる。

企業の人材不足も軽減でき、双方のメリットにもなるという。フォレシアで請け負った業務を随時振り分ける予定だ。



創業支援室に入居し、秋田県庁第二庁舎内に事務所を構えたことで信用度が上がり、相談者に安心して訪問して頂ける環境が整ったという。

支援に使う資金はビジネスを取り入れて生み出す

フォレシアでは協賛企業の商品・サービスを寄付付き商品・サービスとして、無料で紹介している。独自の集客システムを利用して告知、購入者を見つけて販売に繋げ、売上の一部がフォレシアに寄付され、不妊治療の支援や活動費として使われる。通常料金だが様々な特典がつき、購入者にとってはお買い得。企業は広告・営業費をかけずに顧客を獲得でき、CSRにも繋がる。購入者、企業、支援希望者、3者すべてにメリットのあるビジネスモデルだ。「活動を継続させるためにはNPOだからと行政の助成金に頼るのではなく、自ら資金を生み出す仕組みを持つことが大前提」と佐藤さん。助成金以外の資金を集めることで行政では手が回りにくい部分にスピード感を持って支援することが可能になるという。今後は病児保育、学童、教育支援にも広げていく予定だ。



寄付付き商品の仕組みを表すチャート図。「仕組みを理解した上で賛同してくれる企業を募りたい」と佐藤高輝さん。現在販売中の寄付付き商品は住宅。成約1件、仮契約1件と、滑り出しは好調。

事業概要 創業支援室

創業や新事業分野進出を目指す意欲的な企業等に、事務スペースを提供します。秋田県よろず支援拠点等への日常的な経営相談が可能です。

お問い合わせ あきた企業活性化センター／総合相談課
(018-860-5610)まで。